

酒生だより

令和7年6月号

福井市酒生幼・小学校

<http://www.fukui-city.ed.jp/sakou-e/>

「主体的に学び、協働する子」

6月の児童集会で、福井地震に関する話をしました。

まずは、福井県内でなくなられた方が3728人、倒壊・焼失した家屋が760戸と多くの命や家屋が奪われたことを紹介しました。そして、この酒生地区（旧酒生村）では、19名の方が命を落とされ、490戸の家が倒壊・焼失していることも伝えました。さらに、今回の話をするにあたり、酒生公民館より酒生地区に住まわれていた方の当時の貴重な体験が掲載されている書籍をお借りし、その一部を紹介させていただきました。その中で語られていた「地震は、ただ単に揺れて怪我して怖いぞというだけじゃなくて、もう明日からの生活をどうしていいのかわからんように変わってしまう。しかも、予告なしに来る。だから、怖い。」と述べられていた言葉が当時の悲惨な状況を物語っていると感じました。子どもたちも真剣なまなざしで見えて聞いて、地震の怖さを感じていたと思います。

翌日、酒生地区自主防災組織連絡協議会様より防災備蓄倉庫に保管されている食料品の一部を紹介したいとの申し出があり、児童玄関内に展示しました。子どもたちはすぐに気付き、「これ、おうちにもある。」とか「こんなものが入っているんだ。初めて知った。」「アルファ米ってなんやあ?」といった声があちらこちらで聞かれ、少しかもしれませんが、防災に関心をもってくれたのではないかと感じています。そして、この申し出があったときに、子どもたちに一袋ずつ「乾パン」をいただきましたので、16日(月)に配付させていただきました。



実は、今回の話をするにあたり、酒生公民館の方々いろいろなご相談させていただいていたのですが、あっという間に、地域とつなげていただき、地域の方々も何かできることはないか考え、すぐ行動して下さることに、只々感心するばかりです。本当にありがとうございました。

6月12日(木)には、地震のあと、3階多目的室から火災が発生したという想定で、避難訓練を行いました。訓練では、「おさない・はしらない・しゃべらない・もどらない・低学年優先」の約束を守り、真剣に取り組む姿が多く見られました。しかし、実際の地震は、いつ・どこで起きるか分かりません。瞬時に、自分で判断し行動することが求められます。たった一つしかない貴重な命を守るために、今後も、「自分の命は、自分が守る」という防災意識を高めていきたいと思っています。

6月10日(火) 第1回家庭・地域・学校協議会

はじめに、各学年の授業の様子を参観していただきました。その後、会議では、スクールプランの具体的な取り組みの柱を中心に説明させていただきました。そして、「みんなで笑顔 チーム酒生」を目指して、学校と家庭・地域とのつながりを活かしながら教育活動を展開できるよう、PTAや地域の方々に協力をお願いしました。また、日頃の登下校の様子を踏まえて、貴重なご意見もいただきました。今後の安全指導も含めて、より安心できる学校生活につなげられるよう取り組んで参ります。

宿泊学習（5年生） 芦原青年の家



クラブ



授業参観



歯磨き教室（1年生）



PTA資源回収・制服リサイクルバザー



7月の行事予定

2日（水）	保護者懇談会（～3日）	SC訪問	ALT訪問
3日（木）	一中SC訪問		
4日（金）	委員会		
10日（木）	たてわり遊び	集金日	
15日（火）	SC訪問		
16日（水）	ALT訪問		
18日（金）	全校朝礼	授業最終日	給食終了
21日（月）	海の日	夏季休業（～8/26）	

